

単位mm

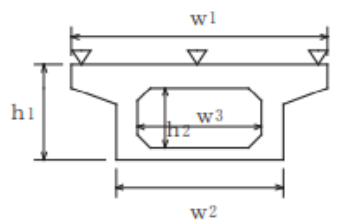
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
P C箱桁製作工	基 準 高	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当り2箇所(支点付近)で1箇所当り両端と中央部の3点、幅及び厚さは、1径間当り両端と中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については床版・横組工に準ずる。 ℓ：桁長 (m)		
	幅(上) w1	- 5 ～ + 30			
	幅(下) w2	- 5 ～ + 30			
	内 空 幅 w3	± 5			
	高 さ h1	+ 10 - 5			
	内空高さ h2	+ 10 - 5			
	桁長 ℓ	ℓ < 15…± 10 ℓ ≥ 15…± (ℓ - 5) かつ - 30mm以内			

単位mm

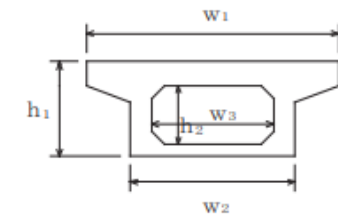
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
PC押出し箱桁製作工	幅(上) w1	- 5 ～ + 30	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については床版・横組工に準ずる。 ℓ：桁長 (m)		
	幅(下) w2	- 5 ～ + 30			
	内 空 幅 w3	± 5			
	高 さ h1	+ 10 - 5			
	内 空 高 さ h2	+ 10 - 5			
	桁 長 ℓ	ℓ < 15…± 10 ℓ ≥ 15…± (ℓ - 5) かつ - 30mm以内			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位:mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
PC箱桁製作工	基準高 ∇	± 20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2箇所（支点付近）で1箇所当たり 両端と中央部の3点、幅及び高さは1径間当たり両端と 中央部の3箇所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 <u>床版工</u> に準ずる。 ℓ : 桁長 (m)		
	幅 (上) w_1	$-5 \sim +30$			
	幅 (下) w_2	$-5 \sim +30$			
	内空幅 w_3	± 5			
	高さ h_1	$+10$ -5			
	内空高さ h_2	$+10$ -5			
	桁長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内			

47

単位:mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
PC押出し箱桁製作工	幅 (上) w_1	$-5 \sim +30$	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央部の3箇所とする。 ※鉄筋の出来形管理基準については、 <u>床版工</u> に準ずる。 ℓ : 桁長 (m)		
	幅 (下) w_2	$-5 \sim +30$			
	内空幅 w_3	± 5			
	高さ h_1	$+10$ -5			
	内空高さ h_2	$+10$ -5			
	桁長 ℓ	$\ell < 15 \dots \pm 10$ $\ell \geq 15 \dots \pm (\ell - 5)$ かつ-30mm以内			

47

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	基準高については、舗装版打換え時等の路床面の基準高測定ができない場合は補充材の施工完了後、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	—45	—15			
	幅	—50	—			

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値 (X)	平均の測定値 (X ₁₀)			
半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	—	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時の路床面の基準高測定ができない場合及び、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換え時等の路床面の基準高測定ができない場合は補充材の施工完了後、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	—25	—8			
	幅	—50	—			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所割に測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-45	-15		
	幅	-50	-		

48

単位mm					
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)		
半たわみ性舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時の路床面の基準高測定ができない場合及び、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合に適用する）。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。
	厚さ	-25	-8		
	幅	-50	-		

48

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm

工 種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘 要
ポラスアスファルト舗装工 (下層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所の割に測定。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事、及び施工延長 100m 未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。 基準高については、舗装版打換え時等の路床面の基準高測定ができない場合は補充材の施工完了後、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	-45	-15			
	幅	-50	-			

単位mm

工 種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘 要
ポラスアスファルト舗装工 (上層路盤工)	基 準 高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所の割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所の割とし、道路中心線及び端部で測定（ただし、舗装版打換え時等の路床面の基準高測定ができない場合及び、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合に適用する）。	コア採取について 橋面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事、及び施工延長 100m 未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。 基準高については、舗装版打換え時等の路床面の基準高測定ができない場合は補充材の施工完了後、舗装構造が上層路盤の施工のみの場合は路床面にて測定する。	
	厚 さ	-25	-8			
	幅	-50	-			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

単位mm						
工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	基準高は延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。 厚さは、各車線20m毎に測定。 幅は、延長40m毎に1箇所割に測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-45	-15			
	幅	-50	-			

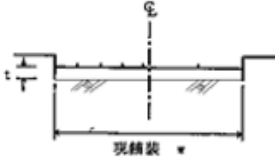
48

単位mm						
工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
ポーラスアスファルト舗装工 (上層路盤工)	基準高 ▽	±40	-	幅は、延長40m毎に1箇所割とし、厚さは、各車線20m毎に測定。 基準高は延長40m毎に1箇所割とし、道路中心線及び端部で測定。	基準高については、舗装版打換時は補充材等施工完了面、全層打換時の上層路盤の施工のみの場合は施工層下面にて測定する。	
	厚さ	-25	-8			
	幅	-50	-			

48

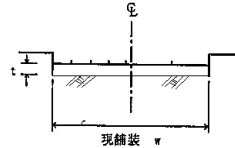
施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm						
工 種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘 要
路面切削工	厚 さ t	-7	-2	厚さは40m毎に現舗装高さと切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測定方法は自動横断測定法によることが出来る。		
	幅 w	-25	-			

単位mm						
工 種	測定項目	規格値	単位mm			
落橋防止装置工 (アンカー工)	有効定着長 ℓ	(引張部材) D22 以下 10D 以上 D25 以上 ～D32 以下 12D 以上 D35 以上 15D 以上 (せん断部材及び段差防止装置) D25 以下 8D 以上 D29 以上 200mm 以上	全数を測定			

改定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

単位mm						
工種	測定項目	規格値	編	測定基準	測定箇所	摘要
路面切削工	厚さ t	-7	-2	<div>厚さは40m毎に現舗装高と切削後の基準高の差で算出する。</div> <div>測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。</div> <div>延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。</div> <div>測定方法は自動横断測定法によることが出来る。</div>		
	幅 W	-25	-			

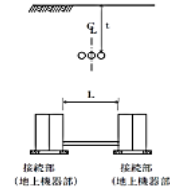
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
落橋防止装置工	<u>アンカーボルト孔の削孔長</u>	<u>設計値以上</u>	<u>全数測定</u>		
	<u>アンカーボルト孔定着長</u>	<u>-20以内</u> <u>かつ-1D以内</u>	<u>全数測定</u> <u>D：アンカーボルト径 (mm)</u>		

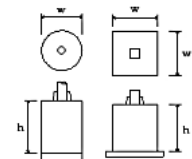
49

50

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

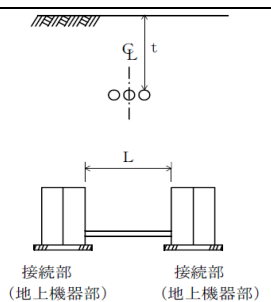
現 行

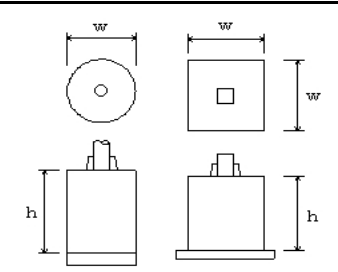
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
ケーブル配管工	深 さ t	0~+50	接続部間毎に 1 箇所		
	延 長 L	-200	接続部間毎で全数。		

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
照明工 (照明柱基礎工)	幅 w	設計値以上	1 箇所毎/ 1 施工箇所		
	高 さ h	設計値以上			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

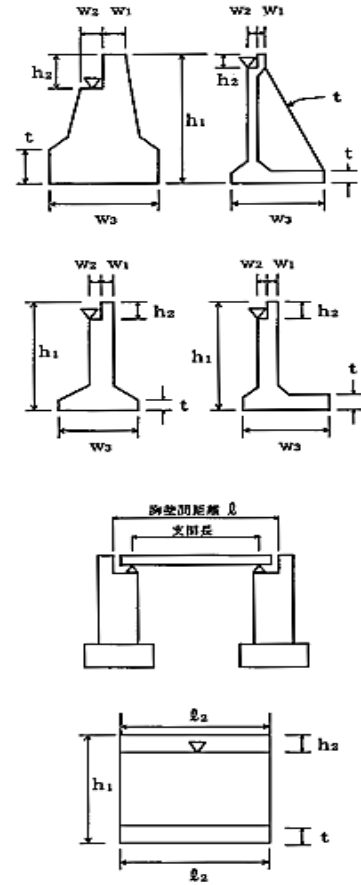
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
ケーブル配管工	<u>埋設深さ t</u>	0～+50	接続部間毎に1箇所		
	延長 L	-200	接続部間毎で全数。		

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
照明工 (照明柱基礎工)	幅 W	<u>-30</u>	1箇所/1施工箇所		
	高さ h	<u>-30</u>			

52

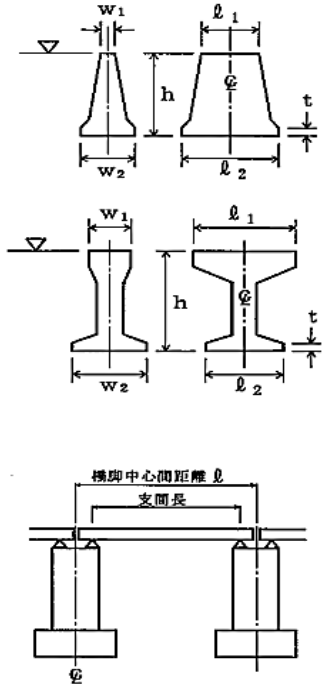
52

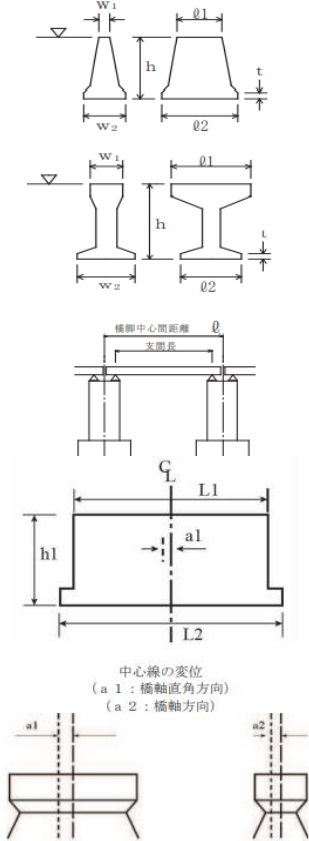
施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行				単位mm								
工 種		測定項目		規格値		測定基準		測定箇所		摘 要		
橋台躯体工		基 準 高 ∇		± 20		橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。						
		厚 さ t		-20								
		天 端 幅 w_1 (橋軸方向)		-10								
		天 端 幅 w_2 (橋軸方向)		-10								
		敷 幅 w_3 (橋軸方向)		-50								
		高 さ h_1		-50								
		胸壁の高さ h_2		-30								
		天 端 幅 ℓ_1		-50								
		敷 長 ℓ_2		-50								
		胸壁間距離 ℓ		± 30								
		支間長及び中心線変位		± 50								
		支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高		$-20 \sim +10$							
			平面位置		± 20							
			アンカーボルトの鉛直度		1/50以下							

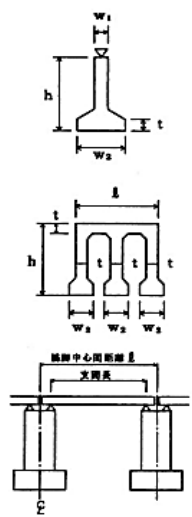
82

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行			
単位mm			単位mm
工 種	測定項目	規格値	測定箇所
橋脚躯体工 (張出式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 
	厚 さ t	-20	
	天 端 幅 (橋軸方向) w_1	-20	
	敷 幅 (橋軸方向) w_2	-50	
	高 さ h	-50	
	天 端 長 l_1	-50	
	敷 長 l_2	-50	
	橋脚中心間距離 l	± 30	
	支間長及び中心線変位	± 50	
	支 承 部 の箱抜き規格値 アンカーボルト		
	計画高	-20~+10	
	平面位置	± 20	
	アンカーボルトの鉛直度	1/50 以下	

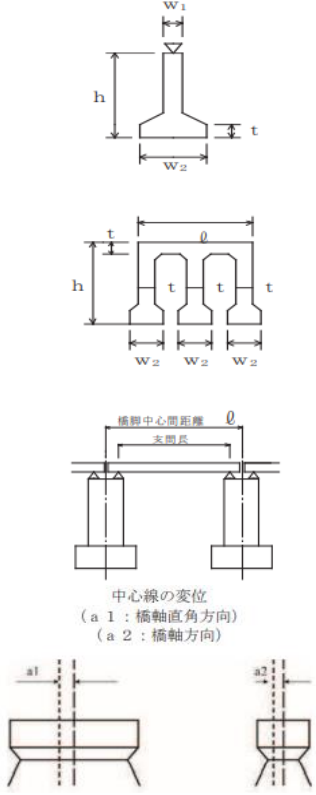
単位:mm				
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
橋脚躯体工 (張出式) (重力式) (半重力式)	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 箱抜き形状の詳細については「道路橋支保便覧」による。	
	厚さ t	-20		
	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20		
	敷幅 w_2 (橋軸方向)	-50		
	高さ h	-50		
	天端長 l_1	-50		
	敷長 l_2	-50		
	橋脚中心間距離 l	± 30		
	支間長及び 中心線の変位	± 50		
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高		
		平面位置		
		アンカーボルト孔の 鉛直度		

施工管理基準及び規格値
 新旧対比表

現 行				
単位mm			単位mm	
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
橋脚躯体工 (ラーメン式)	基 準 高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	
	厚 さ t	-20		
	天 端 幅 w_1	-20		
	敷 幅 w_2	-20		
	高 さ h	-50		
	長 さ ℓ	-20		
	橋脚中心間距離 ℓ	± 30		
	支間長及び中心線の変位	± 50		
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル の 箱 抜 き 規 格 値	計画高		
		平面位置		
		アンカーボルトの鉛直度		

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

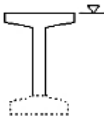
頁番号

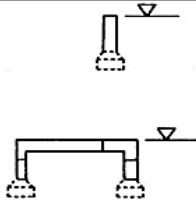
単位:mm				
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所
橋脚躯体工 (ラーメン式)	基準高 ∇	± 20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。 <u>箱抜き形状の詳細については「道路橋支承便覧」による。</u>	
	厚さ t	-20		
	天端幅 w_1	-20		
	敷幅 w_2	-20		
	高さ h	-50		
	長さ l	-20		
	橋脚中心間距離 l	± 30		
	支間長及び中心線の変位	± 50		
	支 承 部 ア ン カ ー ボ ル ト の 箱 抜 き 規 格 値	計画高	+10~-20	
		平面位置	± 20	
		アンカーボルト孔の鉛直度	1/50以下	

56

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

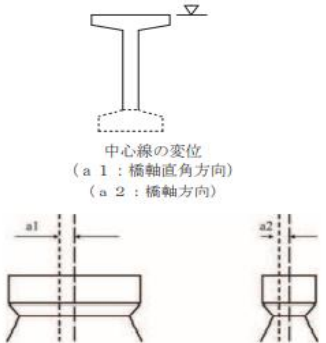
現 行

単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
橋脚架設工 (I型・T型)	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

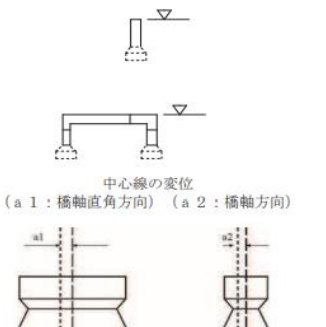
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
橋脚架設工 (門型)	基 準 高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。		
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

改 定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)

頁番号

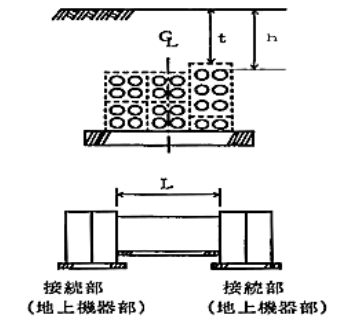
単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
橋脚架設工 (I型・T型)	基準高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	 <p>中心線の変位 (a 1 : 橋軸直角方向) (a 2 : 橋軸方向)</p>	
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

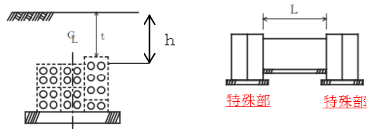
57

単位mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
橋脚架設工 (門型)	基準高 ▽	±20	橋軸方向の断面寸法は中央及び両端部、その他は寸法表示箇所。	 <p>中心線の変位 (a 1 : 橋軸直角方向) (a 2 : 橋軸方向)</p>	
	橋脚中心間距離 ℓ	±30			
	支間長及び中心線の変位	±50			

58

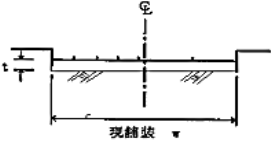
施工管理基準及び規格値 新旧対比表

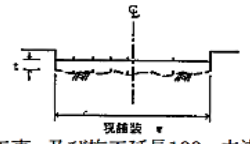
現 行					
単位mm			単位mm		
工 種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘 要
管路工	埋 設 深 h	0 ～+50	柵間毎に全数。		
	延 長 L	－200			

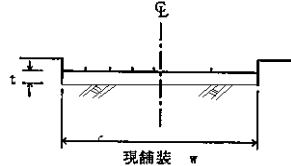
単位:mm					
工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
管路工 <u>(管路部)</u>	埋設深 h	0～+50	樹間毎に全数。		
	延長 L	-200			

施工管理基準及び規格値 新旧対比表

現 行

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)			
切削オーバーレイ (路面切削)	厚 さ t	－7	－2	厚さは20m毎に現舗装高さと切削後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測量方法は自動横断測定法によることが出来る。		
	幅 w	－25	－			

単位mm				単位mm		
工 種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘 要
		個々の測定値(X)	10個の測定値の平均(X ₁₀)			
オーバーレイ工	厚 さ t	－9		厚さは20m毎に現舗装高さとオーバーレイ後の基準高の差で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。幅は延長40m毎に1箇所の割とし、延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。		維持工事、及び施工延長100m未満又は人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することが出来る。
	幅 w	－25				
	延 長 L	－100				
	平 坦 性	－	3 m ² 以下 2.4 mm以下直読式(足付き) (σ)1.75 mm以下			

改定' (変更箇所は赤字下線付き及び赤色着色部)							頁番号
単位mm							61
工種	測定項目	規格値		測定基準	測定箇所	摘要	
		個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)				
切削オーバーレイ (路面切削)	厚さ t <u>(切削)</u>	個々の測定値 (X)	10個の測定値の平均 (X10)	厚さは20m毎に「現舗装高さと切削後の基準高の差」、 <u>「切削後の基準高とオーバーレイ後の基準高の差」</u> で算出する。測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。 <u>幅は延長40m毎に1箇所の割りとする。</u> 延長20m未満の場合は、2箇所／施工箇所とする。断面状況で、間隔、測点数、厚さを変えることが出来る。測量方法は自動横断測定法によることが出来る。 <u>維持工事及び施工延長100m未満、または人力敷均しにより舗設した箇所においては、平坦性の項目を省略することができる。</u>			
	<u>厚さ t (オーバーレイ)</u>	-7	-2				
	<u>幅 w</u>	<u>-9</u>					
	<u>延長 L</u>	<u>-25</u>					
	<u>平坦性</u>	<u>-100</u>					
		10個の測定値の平均 (X10) <u>3 m プロファイルメータ (σ) 2.4mm 以下</u> <u>直読式 (足付き) (σ) 1.75mm 以下</u>					

オーバーレイ工：切削オーバーレイに統合